NYマーケットレポート(2013 年 5 月 22 日)

昨晩注目されたバーナンキ FRB 議長の議会証言では、冒頭に「時期尚早の金融引き締めは、景気回復をリスクにさらす恐れがある」との認識を示し、金融緩和策の継続を強調したことを受けて、ドル売りとなりました。しかし、景気の改善が持続的だと確信できた場合は、今後数回の会合で債券購入ペースを減速させることもあり得る、との見解を示したことに反応し、ドルは主要通貨に対して上昇する動きとなりました。一方、クロス円は、欧州市場からの円売りの流れを受けて、序盤は堅調な動きとなったものの、上昇して始まった株価が下落に転じたことなどから軟調な動きとなりました。そして、FOMC の議事録では、6 月に緩和規模の縮小を希望するメンバーが複数いたことや、経済指標の悪化が続いたことにより、米景気の鈍化の可能性が指摘されたことを受けて、ドル売り・円買いが優勢となりました。また、株価が一段の下落となったこともあり、クロス円も終盤まで軟調な展開が続きました。

2013/5/22（水）

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	102.80	102.86	102.36
EUR/JPY	132.96	133.13	132.22
GBP/JPY	155.67	155.82	155.18
AUD/JPY	100.41	100.73	100.19
EUR/USD	1.2935	1.2945	1.2903

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	103.00	102.79
EUR/JPY	133.25	132.93
GBP/JPY	155.83	155.12
AUD/JPY	100.54	100.17
EUR/USD	1.2956	1.2924

＊LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	103.04	103.74	102.71
EUR/JPY	132.48	133.80	131.97
GBP/JPY	155.02	156.11	154.57
AUD/JPY	99.93	100.95	99.52
NZD/JPY	83.17	84.37	82.83
EUR/USD	1.2855	1.2997	1.2833
AUD/USD	0.9698	0.9823	0.9662

米主要株	終値	前日比
米ダウ平均	15307.17	-80.41
S&P500	1655.35	-13.81
NASDAQ	3463.30	-38.82
その他主要株	終値	前日比
トロント総合	12752.50	+10.07
ボルサ指数	40119.02	-429.42
ボベスパ指数	56395.59	+130.27

5/23 経済指標スケジュール

09:00 【シンガポール】1Q GDP
10:00 【豪】5月消費者インフレ期待
10:45 【中】5月HSBC製造業PMI
14:00 【シンガポール】4月消費者物価指数
14:00 【シンガポール】4月鉱工業生産
16:00 ～ 17:00
【仏】【独】【欧】5月製造業PMI・非製造業PMI
16:15 【スウェーデン】5月消費者信頼感指数
17:30 【英】1Q GDP
21:30 【米】新規失業保険申請件数
21:30 【米】失業保険継続受給者数
22:00 【メキシコ】1Q GDP
22:00 【米】3月住宅価格指数
22:00 【米】4月新築住宅販売件数
23:00 【欧】5月消費者信頼感
00:00 【米】5月カンザスシティ連銀製造業活動指数
時間未定 【南ア】政策金利発表

主要会議・講演・その他予定

・セントルイス連銀総裁 講演
・米10年TIPS債入札

欧州主要株	終値	前日比
英FT100	6840.27	+36.40
仏CAC40	4051.11	+14.93
独DAX	8530.89	+58.69
ST欧州600	310.59	+0.60

コモディティー	終値	前日比
NY GOLD	1367.40	-10.20
NY 原油	94.28	-1.90
CMEコーン	658.50	+18.50
CBOT 大豆	1494.25	+16.00

米国債利回り	本　日	前　日
2年債	0.25%	0.24%
3年債	0.41%	0.38%
5年債	0.89%	0.82%
7年債	1.39%	1.29%
10年債	2.03%	1.93%
30年債	3.21%	3.13%

（出所：ブルームバーグ）

NY 市場レポート

21:00
ドル/円　102.95　　ユーロ/円　133.10　　ユーロ/ドル　1.2932

21:00
欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6768.95	+13.32	ダウ INDEX FUTURE	15322	+3
仏 CAC40	4012.99	+13.32	S&P500 FUTURE	1663.50	-1.10
独 DAX	8436.56	-19.27	NASDAQ FUTURE	3019.25	-1.75

（出所：ブルームバーグ）

21：30
≪ 経済指標の結果 ≫
・3 月カナダ小売売上高（前月比）　0.0%（予想　0.1%・前回　0.7%）前回発表の 0.8%から 0.7%に修正
・3 月カナダ小売売上高[除自動車]（前月比）　-0.2%（予想　0.2%・前回　0.7%）

（出所：ブルームバーグ）

（出所：ブルームバーグ）

22：00

≪ 経済指標の結果 ≫

・3 月メキシコ小売売上高(INEGI) −0.2%（予想 0.3%・前回 −2.6%）

（出所：ブルームバーグ）

≪ NY 外国為替市場 序盤 ≫

序盤の外国為替市場は、円売りの動きが出てドル円・クロス円は上昇する場面もあったが、バーナンキ FRB 議長の議会証言を控えて様子見気分も強く、値動きはやや限定的となっている。

22：33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	15395.41	+7.83
ナスダック	3502.93	+0.81

（出所：ブルームバーグ）

23:30
≪ 経済指標の結果 ≫
・4 月米中古住宅販売件数 497 万件(予想 499 万件・前回 494 万件)前回発表の 492 万件から 494 万件に修正
・4 月米中古住宅販売件数(前月比) 0.6%(予想 1.4%・前回 -0.2%)前回発表の-0.6%から-0.2%に修正

(出所:ブルームバーグ)

経済指標データ
≪中古住宅販売≫

	4 月	3 月	2 月	1 月	12 月	11 月
販売戸数	497	494	495	494	490	496
北東部	64	63	63	65	62	61
中西部	112	116	114	116	112	117
南部	201	197	198	196	194	199
西部	120	118	120	117	122	119

(万件)

23:00
≪ 要人発言 ≫
バーナンキ FRB 議長～議会証言
・「金融政策は多大な恩恵をもたらしている」
・「雇用は最近増加したが、全般に弱い」
・「時期尚早の引き締めは景気減速や腰折れのリスクに」
・「必要に応じて緩和政策を続けるとあらためて表明」
・「物価は今後数年、目標の 2%以下で推移するだろう」
・「量的緩和の縮小が出口戦略の最初の政策に」
・「保有資産を売却する可能性もあればしない可能性も」
・「資産購入のペースは加速も減速も可能」
・「今後数回の FOMC 会合で資産購入のペース減速も」
・「資産購入のペースはデータ次第」

23:35
≪EIA 米週間在庫統計≫
原油在庫・・・・33.8 万バレル減少
ガソリン在庫・・302 万バレル増加
留出油在庫・・・105 万バレル減少

23:55
≪ 要人発言 ≫
バーナンキ FRB 議長～議会証言
・「政策の正常化は保有証券を償還させることで可能」
・「MBS を売却しない出口戦略は可能」
・「金融当局はフロスやバブルの兆候を探している」
・「われわれは日本の政策を支持する」
・「日銀の行動は劇的な効果をもたらしているようだ」

23:55
≪ NY 株式市場 序盤≫
序盤の株式市場は、バーナンキ FRB 議長が議会証言で現行の金融緩和策を当面続ける姿勢を強調したことを受けて、株式への資金流入が強まるとの見通しが出て主要株価は軒並み上昇となった。ダウ平均株価は、一時前日比で 154 ドル高まで上昇する場面もあった。

≪ 経済指標のポイント ≫
(1)MBA(全米抵当貸付銀行協会)の住宅ローン申請指数は、前週比-9.8%となり、約 5 ヵ月ぶりの大幅な下げとなった。借り入れコストの上昇でローンの借り換え費用が高くなったことが要因となった。構成指数の購入指数は-3.0%、借り換え指数は-11.7%となった。30 年固定金利型の住宅ローン金利は 3.78%(前週 3.67%)と、3 月以来の高水準となった。15 年固定 金利型は 2.96%(前週 2.88%)となった。申請件数全体に占める借り換えの割合は 73.8%(前週 75.5%)。

(2)NAR(全米不動産業者協会)が発表した 4 月の中古住宅販売件数は、年率換算で前月比+0.6%の 497 万件と、2009 年 11 月以来、3 年 5 ヵ月ぶりの販売件数となった。前年同月比では+9.7%となり、22 ヵ月連続の増加となっている。
①戸建て住宅が前月比+1.2%の 438 万件、集合住宅は-3.3%の 59 万件。また、前年同月比で一戸建ては+9.0%、集合住宅は+15.7%となった。
②中間販売価格は、前年同月比+11.0%の 19 万 2800 ドルと 14 ヵ月連続の上昇となった。平均販売価格は 9.4%の 24 万 2600 ドル。
③地域別の販売動向は、北東部が前月比+1.6%の 64 万件、南部は+2.0%の 201 万件、西部が+1.7%の 120 万件となる一方、中西部は-3.4%の 112 万件だった。
④市場に出て売れ残った住宅在庫は、4 月末時点で前月比+11.9%の 216 万件、前年同月比は-13.6%となった。販売に対する在庫の比率は 5.2 ヵ月と前月から+10.6%となった。

欧州主要株	終値	前日比
英 FT100	6840.27	+36.40
仏 CAC40	4051.11	+4.93
独 DAX	8530.89	+8.69
ストック欧州 600 指数	310.59	+0.60
ユーロファースト 300 指数	1256.28	+3.06
スペイン IBEX35 指数	8462.40	-2.10
イタリア FTSE MIB 指数	17545.46	+117.99
南ア アフリカ全株指数	41836.02	+20.66

（出所：ブルームバーグ）

≪欧州株式市場≫

欧州株式市場は、FRB のバーナンキ議長が現行の金融緩和政策を当面継続する姿勢を示したことが好感され、主要株価は続伸となった。英 FT100 は 1999 年 12 月 30 日以来、約 13 年 5 ヵ月ぶりの高値をつけ、独 DAX は終値最高値を 12 営業日連続で更新した。

（出所：ブルームバーグ）

1:00

米主要株価・中盤

ダウ 15499.54(+111.96)、 S&P500 1680.61(+11.45)、 ナスダック 3521.45(+19.32)

≪ NY 債券市場 ・午前≫

・午前の債券市場は、バーナンキ FRB 議長が議会証言の質疑応答で、雇用の改善が続けば QE3（量的緩和第 3 弾）に伴う資産購入を縮小する可能性があると示唆したことから、長期債を中心に国債の売りが優勢となった。ただ、議長が証言の冒頭で、当面は金融緩和を継続する姿勢を強調したため、国債が買われる場面もあった。

・午前の利回りは、30 年債が 3.17%（前日 3.13%）、10 年債が 1.97%（1.93%）、7 年債が 1.34%（1.29%）、5 年債が 0.85%（0.82%）、3 年債が 0.39%（0.38%）、2 年債が 0.24%（0.24%）。

≪ここまでの欧州のポイント≫
①大手金融が顧客向けリポートで、ECB からの明確なシグナルに基づき、6 月の 会合での0.25%の利下げを予想している。中銀預金金利の 6 月の引き下げは予想していないものの、年内実施の可能性は排除できないとみている。次回 ECB 理事会は、6 月 6 日に予定されている。
②EU で計画されている金融取引税の対象に国債が含まれれば、国家の借り入れコスト上昇につながるため、国債関連の取引は課税対象から除外するべきだと、各国の公債管理当局者で構成する小委員会が勧告した。新規発行と流通市場取引、関連デリバティブ（金融派生商品）、現先取引が全て借り入れコストに影響すると指摘。国債に関連した取引が課税対象から除外されない限り、資金コストは上昇すると警告した。来年の金融取引税導入を目指してフランスとドイツを含む EU の 11 ヵ国が導入に合意している。
③スイス中銀（スイス国立銀行）のヨルダン総裁は、「為替レートの上限調整は必要に応じ、われわれの選択肢に基本的に含まれている」と述べ、「必要な限り為替レートの上限を維持する」と言明した。金融状況の引き締まりを防止する上で同中銀に可能な措置の一部として自国通貨スイス・フランの上限調整とマイナス金利の導入を挙げた。
デフレと低迷する景気への対応策として、スイス中銀は 11 年 9 月にフランのユーロに対する上限を 1 ユーロ＝1.20 フランに設定。政策金利は既にゼロまで引き下げている。一段のフラン安を求める業界団体などは上限変更を呼び掛けていたものの、スイス中銀はこれまで上限の水準を勝手に変えることはできないとの立場を示していた。
④キプロス中銀総裁は、国内 2 大銀行の解体と再建、資本増強でキプロスの銀行システム崩壊と無秩序なデフォルトは回避されたと説明した。さらに、資本規制は段階的に緩和され、自由な資本移動と金融安定化の間のバランスが考慮されるべきだとも語った。また、規制を急激に解除すれば突発的な資本流出と流動性の問題を引き起こす恐れがあるとも指摘し、経済見通しをめぐるリスクは大きく下方向に傾いていると述べた。
⑤イタリア国家統計局は、輸出の伸び率が 2014 年末までに 10%近くに達し、プラスの経済成長回復をけん引するとの見通しを示した。ISTAT によると、輸出は 2 年間で+9.7%となる見込みで、モノの輸出は+10%、サービスは+7.5%と予想されている。そして、今年のイタリアの成長率は-1.4%、来年が+0.7%を見込んでいる。

3:00
≪ FOMC 議事録 ≫
・「多くの参加者は購入縮小には一段の改善が必要と認識」
・「景気は緩やかなペースで拡大と判断」
・「数人のメンバーは 6 月の緩和規模縮小を希望」
・「参加者は景気見通しが 3 月からほぼ変化なしと判断」
・「最近のデータで FOMC は景気鈍化の可能性を懸念」
・「2011 年 6 月の出口戦略の原則を改定」
・「出口戦略の原則は大筋でなお有効」

3:20
≪ 要人発言 ≫
フィッシャー・ダラス連銀総裁～講演
・「量的緩和プログラムは利点とコストの両方がある」
・「問題は量的緩和の継続ペース」
・「MBS 購入ペースは原則可能」

3:30
NY 金は、中心限月が前日比 10.20 ドル安の 1 オンス＝1367.40 ドルで取引を終了した。

4:10
NY 原油は、中心限月が前日比 1.90 ドル安の 1 バレル＝94.28 ドルで取引を終了した。

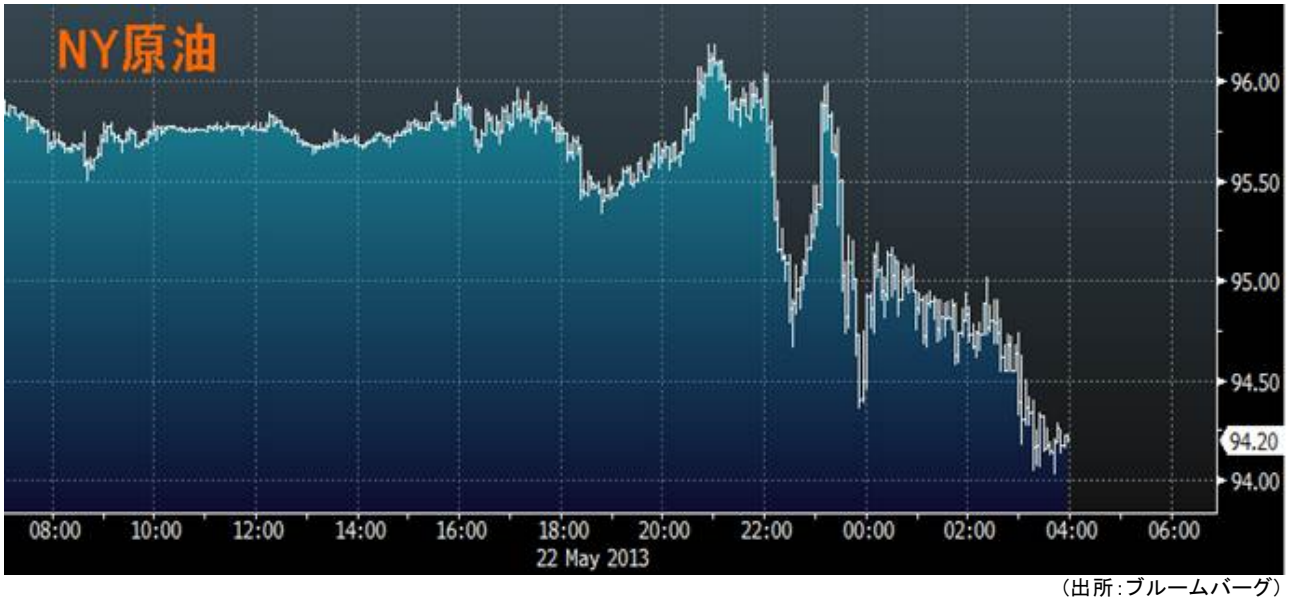
主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1367.40	-10.20
NY 原油	94.28	-1.90

（出所：ブルームバーグ）

≪ NY 金市場 ≫
NY金は、バーナンキ FRB 議長が議会証言で金融緩和策を当面継続する姿勢を示したことを好感して、堅調な動きとなった。一時、1400ドル台まで 上昇したものの、雇用改善が持続すれば資産購入の規模を縮小する可能性があると示唆したことを嫌気して売りが優勢となりマイナスで引けた。

（出所：ブルームバーグ）

≪ NY 原油市場 ≫
NY原油は、米石油統計でガソリン在庫が大きく増加したことを受けて、エネルギー需要の低迷懸念が広がった。また、FOMC 議事録で、早ければ 6 月の会合で金融緩和の規模を縮小したいと述べたことが明らかになり、売りが加速した。



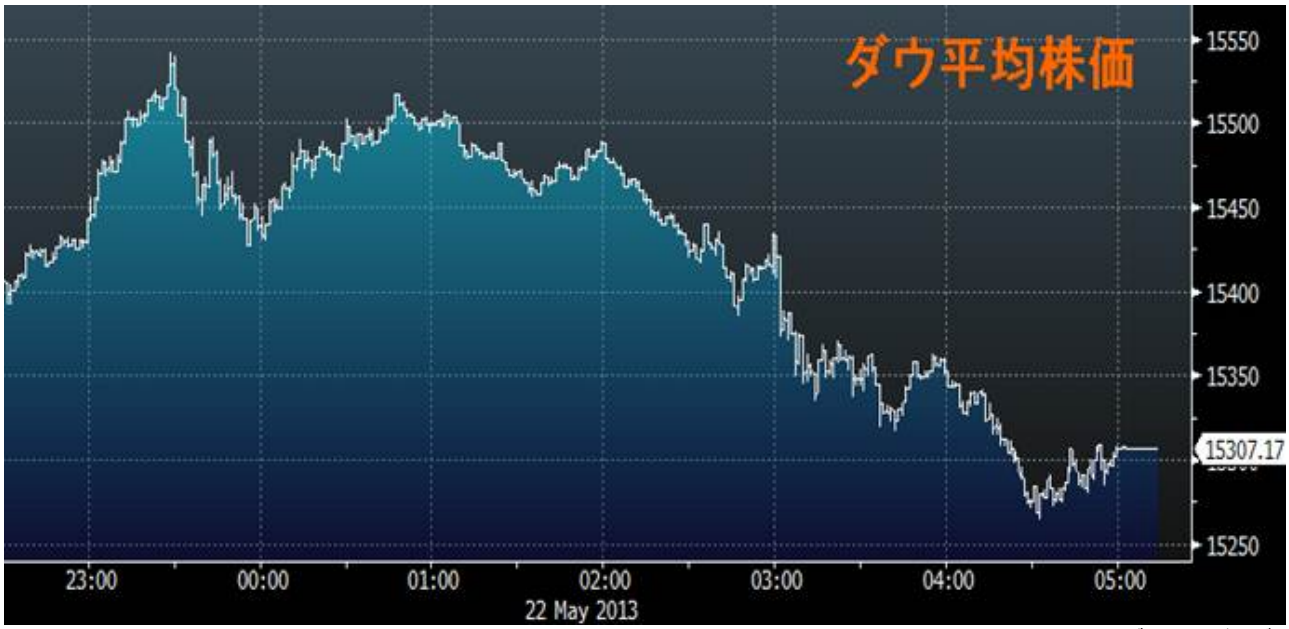
（出所：ブルームバーグ）

米主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	15307.17	-80.41	15542.40	15265.96
S&P500 種	1655.35	-13.81	1687.18	1648.86
ナスダック	3463.30	-38.82	3532.04	3446.97

（出所：ブルームバーグ）

≪米株式市場≫

米株式市場は、米住宅関連の経済指標が予想を下回ったものの、FRB のバーナンキ議長が現行の金融緩和政策を当面継続する姿勢を示したことが好感され、主要株価は堅調な動きとなった。その後、高値警戒感が出たことや、FOMC 議事録で、6 月に緩和規模縮小を希望するメンバーがいたことが明らかとなったことなどから、主要株価は下げに転じマイナス圏で引けた。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前日比で 154 ドル高まで上昇したものの、その後は下落に転じ、終盤には前日比で 121 ドル安まで下落する動きとなった。



（出所：ブルームバーグ）

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	103.04	103.74	102.71
EUR/JPY	132.48	133.80	131.97
GBP/JPY	155.02	156.11	154.57
AUD/JPY	99.93	100.95	99.52
NZD/JPY	83.17	84.37	82.83
EUR/USD	1.2855	1.2997	1.2833
AUD/USD	0.9698	0.9823	0.9662

（出所：ブルームバーグ）

≪外国為替市場≫

外国為替市場は、バーナンキ FRB 議長が現行の金融緩和政策を当面継続する姿勢を示したことを受けて、株価が大きく上昇し、円が大半の主要通貨に対して下落する動きとなった。しかし、その後は株価が下落に転じたことや米景気の鈍化が指摘されたことから、円を買い戻す動きが強まり、ドル円・クロス円は終盤にかけて軟調な動きが続いた。ただ、引け間際には、下げ幅を若干縮小する動きとなった。

（出所：ブルームバーグ）

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社
お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、 複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。 また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。